

2012年春闘勝利!

国労仙総支部春闘総決起集会開催

(3月8日)



支部庄司委員長挨拶

3月8日(木)に利府コミニティセンターにおける支部春闘総決起集会に、支部組合員約一〇〇名の組合員が結集しました。司会の高橋書記長は「昨年の東日本大震災からもうすぐ一年経つが、復興にはほど遠い状況。原発事故が発生した所では二重の苦しみで先が見えない。中々春闘と気持ちの切り換えがでないと思うが、我々組織された労働者が団結し、世の中の労働者の水準を上げたい」として、世の中の労働者の水準を上げたいと述べ、開催の挨拶を行いました。

支部を代表し支部庄司委員長は「私たち一人一人の思いはそれぞれにあるが、目標である私たちの労働条件の最たる賃上げの要求をこの春闘の中で勝ち取ることを大きな目標にしたい。」と挨拶を行いました。その後、各分会代表の決意表明、集会の最後の庄司委員長の団結ガンバローで春闘勝利に向けて団結して闘うことの意思統一を行いました。尚、集会終了後に懇親会を開催、団結を固めました。

庄司委員長挨拶

二〇一二年春闘、震災の影響が大きく大変闘うには厳しい状況。しかし、むずかしい春闘だからこそやり抜くため、支部春闘学習会を開催。また地域共闘の春闘講座等に参加し、春闘を精一杯闘い抜くことを意思統一した。本日の集

会が出发点とし、明日、明日と控える大衆行動の成功に向け総決起することを冒頭訴える。私たちの春闘の生要求は五万円だが、国労の要求はベア五〇〇〇円。食い違いに對し皆さんも様々な思いがあるかと思う。しかし、報道によればベアも要求できない連合加盟の大手労組等、定昇維持が要求の骨子となっているのが大半というのが状況である。

私たちの一人一人の思いはそれぞれにあるが、賃上げの要求を、この春闘の中で勝ち取るために精一杯取り組むことを大きな目標にしたい。そして私たち仙総支部は、この春闘において賃上げ獲得をはじめとした諸要求の実現と共に、今年も、労働組合の運動を職場の中から実践をするために、春闘の大きな山場と位置づけこの間運動を進めてきた。昨年末段階から一人一要求の取り組みを進め、支部に闘争委員会を設置し闘いの具体化を図ってきた。すでに地本を通し、総合車両センター関係業務改善の提案に関する要求の中にいれ申し入れを行った。今後、団交強化に向けた取り組みを進めていく。是非、討論を積みあげて頂きたい。そして、今春闘においても

職場で解決できるものは職場で解決をする目標に現場長要請行動を展開する。昨日、支部は幹総の総務科に対し要請行動を行い、その後各科において我々の代表が要請行動を展開することをにしている、職場の問題点等についての話し合いを求める行動を、是非代表を組合員全員で支えて頂きたい。

職場の労働運動の構築には、支部・分会の機関の活性化も大きな目標。機関が活性化すれば、組織強化・拡大が図られる。今、労働運動がどのようなものかよく分からない若い労働者が大半。この若い労働者たちに国労の運動をしっかりと見せ、闘う中から職場の改善が進むことを是非教えて頂きたい。

今春闘、労働条件改善と共に、大幅賃上げ獲得へむけ精一杯がんばろう。

2012春闘勝利!



各分会代表挨拶

車体分会小松分会長
2月16日には6度目の会社施設利用による学習会を東日本本部武田執行組織部長、地本千葉組織部長を招き開催した。2月17日に分会で退職者激励会を開催。退職等で減少する組合員を組織拡大の取り組みで食い止めたいと出席者と共に確認してきた。

車体一科では二〇一二年より大幅な業務委託が提案されている。様々な問題があるが会社はそれを重要視していない。責任は会社側に取らせなければならぬ。

人事・賃金制度の問題では、昇進試験で行われた差別を二度々行われてはならない。点検・摘発の取り組みで何とか食い止めなければならない。

組立分会松井分会長
業務改善提案以降、分会集会を開催し、団交に向けての意思統一を行った。また東日本本部武田組織部長を招き、組織拡大への集会も開催してきた。

部品科は今回の震災により甚大な被害を受けた。いまだ復旧がされていない。会社は、震災を利用して労働条件の改善をねらっている。私たちは、それを許してはならない。

台車分会森本分会長
1月末に定期大会を開催以降、この間、定例の執行委員会を開催し、大会で出された意見や春闘要求等議論し、分会集会を開催してきた。この春闘に展開して分会の団結が高まる様な運動を展開していく。

運転分会横山副分会長
昇進差別の問題では、20回以上昇進試験が合格しない組合員に業務上の特別な仕事を持たせている。この事に對し不合理さを感じている。

かかったと言われているが、冷たい風が作業にあたっている。現場の声を聞きから設置している。現場の声を聞きからやってくる。現場の声を聞きからエルダー職場の環境改善に取り組んでいきたい。



国労東北協議会

国労東北春闘総決起集会開催

(3月9日)



常禅寺通りをデモ行進



猶野 喬氏講演



仙総支部もプラカードを先頭に



国労です。



早期に震災の復興を!

早朝チラシ行動

3月9日(金)に仙台市・市民会館において、東北三地本から組合員約四〇〇名が結集し、二〇一二年春闘勝利、諸要求獲得に向け国労東北春闘総決起集会が開催されました。

集会は二部構成で、第一部では、東北労働講座として「東日本大震災 東北運輸局の取り組みについて」と題して、東北運輸局東日本大震災復興室室長・猶野喬氏から講演が行われ、東日本大震災の被害の実情や東北運輸局の取り組み等の報告がありました。第二部に入り、国労東日本本部・松井書記長からの春闘情勢、安全問題、組織強化・拡大等の報告を含めた挨拶。来賓挨拶(社民党、共産党、平和労組、福島県平和フォーラム)、東北三地本代表からの決意表明が行われました。その後、アピール採択、斉藤議長の団結カンパローで締められ、仙台市内を四隊に分かれデモ行進を行いました。

デモ行進終了後、仙台市グリーンコートにおいて、東北三工場交流会が開催され(43名参加)、遠く離れ中々会うことのできない仲間との交流を行いました。

尚、この行動の前段、仙台駅東口と仙台支社前で早朝チラシ行動が行われました。